

市バスの運賃改定に係るご意見と市の考え方について

【意見募集期間】 令和6年5月15日（水）から令和6年5月29日（水）まで（15日間）

【意見提出数】 12件

【意見提出方法】 ホームページ内 アンケートフォーム（12件）

No.	意見（原文をそのまま掲載しています。）	市の考え方
1	<p>私は運転免許を返納したのでよくバスを利用する。現在の乗車状況を見ると改定はや無負えないと思う。</p> <p>だが、通勤通学時間帯を除くと高齢者の無料券使用者が大部分のように見られる。小学生が子供料金とはいえ支払っているのに高齢者だからと無料にする必要はない。子供料金と同じにするか年間何枚かの無料券を配布する方がよいのではと考える。私も後期高齢者で無料券をいただいているが、子供が支払っているのに無料で乗るのは気が引ける。そこで片道は支払い、片道は券を利用させてもらっている。</p> <p>佐古、蔵本などから市中心部への路線は徳島バスの西部からの路線と重なっており、往々にして団子状でバスが運行されていることがある。県内の人口が減少している中で公共交通機関を存続させるためには公営バス、民営バス、JR が一体となった運行システムを作れないものだろうか。</p> <p>例えば、JRが走っている徳島線沿いはバスを並行して走らさず、バスは石井、鴨島、川島などを中心とした地域内を巡行するようにすれば便数も増え利便性もよくなる。いずれにせよ、高齢社会では最後の移動手段は公共交通機関になる。永続性のある体系を考えてもらいたい。</p>	<p>高齢者バス無料乗車証については、高齢者の移動手段の確保のほか、積極的な社会参加を促進する目的等で交付しております。今後も引き続き、高齢者等にも利用しやすい施策等を検討してまいります。</p> <p>また、路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p>
2	<p>高すぎます！</p> <p>まず徳島市営バスの無料パスを徳島バスと共通で使えるように、なって欲しいです🙏</p>	<p>高齢者バス無料乗車証については、高齢者の移動手段の確保のほか、積極的な社会参加を促進する目的等で交付しております。高齢者等が利用しやすい公共交通のあり方を引き続き検討してまいります。</p>

市バスの運賃改定に係るご意見と市の考え方について

No.	意見（原文をそのまま掲載しています。）	市の考え方
3	<p>値上げ前に老人パスの有料化を進めてください。100円で構わないと思います。利用時間も、10時から17時で。通勤時間帯には混雑のもと。一方で中高生の学割回数券の新設を。150円くらいで。彼らの負担は親に直結。負担軽減を。</p> <p>これらは、首都圏や関西圏など普通です。徳島の公務員の皆さんは、もっと日本中のことを勉強してから、値上げの議論をしてください。</p>	<p>高齢者バス無料乗車証については、高齢者の移動手段の確保のほか、積極的な社会参加を促進する目的等で交付しております。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいりますので、ご理解ください。</p>
4	<p>昨今の燃料価格の高騰などにより運賃の値上げについては、ある程度、致し方ないと思いますが、運転手の賃金については、質の良い人ならまだしも、あまり運転業務に向いてない人も同一に賃金を上げて、それに伴う利用者の運賃の値上げというのは、納得できないものがあります。</p> <p>また、今回の市内均一運賃の値上げ幅は大きいと思います。せめて徳島市からの補助でどうにかできないでしょうか？</p> <p>徳島市内均一運賃220円を希望します。また、徳島市とはいえ、川内町や国府町など市内でも冷遇されているような地域にも徳島市内中心部と同じような運賃体系を望みます。（現在の均一運賃以外の徳島市は250円均一にするなど）</p>	<p>路線バス事業者においては、昨今、深刻な運転手不足などへの対応を迫られています。このたびの運賃改定による収入は、事業者において、人材の確保や育成、バス利用者の皆様への利便性の向上につなげてまいります。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいりますので、ご理解ください。</p>

市バスの運賃改定に係るご意見と市の考え方について

No.	意見（原文をそのまま掲載しています。）	市の考え方
5	<p>昨今の事情を考慮するとやむを得ない値上げだとして値上げをすることには賛成である。</p> <p>一方、私は地元が徳島のために帰省時に利用するが未だに交通系ICカードが使えないのは非常に不便に感じる。貴客には南海フェリー、オーシャンフェリーの船客輸送も担っているため、県外からくる利用客の利便性も考慮してほしい。</p> <p>特に南海フェリー便は大阪、和歌山から電車で通しで移動できるような手段（交通系IC、クレジットカードのタッチ決済など）利便性を高める取り組みをば進めて欲しい。</p> <p>値上げをする分、サービス改善荷物にも務めていただきたい。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p> <p>また、運賃の支払方法については、多様な決済方法の導入など、利便性の向上に取り組んでまいります。</p>
6	<p>いい加減高い市民税を負担しているのに、この物価高で生活困窮している市民が居るのに、市バスの運賃値上げ？呆れてものが言えない。断固反対致します。市税の有効的量が、バス運賃を補って下さい。老人パスを即座廃止し、運賃負担を求めるのが先決であると思います。バス利用者は殆どが高齢者、これをやる方が運賃収入が上がり、値上げしなくても良くなる。現役世代ばかりに負担を掛けず、無料利用者ならも運賃搾取すべきである。</p>	<p>高齢者バス無料乗車証については、高齢者の移動手段の確保のほか、積極的な社会参加を促進する目的等で交付しております。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいりますので、ご理解ください。</p>
7	<p>値上げは、燃料費や人件費など近年高騰しているので仕方ないと思うが徳島市内に住む中高生や大学生など学生証提示で土日祝や夏休み期間などは運賃100円にしたらどうだろうか？</p> <p>ガラガラのバスを走らせるくらいなら自治体が支援して、学生を運んで街に賑わいを取り戻して欲しい</p>	<p>本市では、徳島県と連携し、小中学生を対象に「夏休みこども1日フリー乗車券」を平成27年度から販売してきました（一部休止年度あり）。関係機関と連携をとりながら、今後の事業内容を引き続き検討してまいります。</p>

市バスの運賃改定に係るご意見と市の考え方について

No.	意見（原文をそのまま掲載しています。）	市の考え方
8	<p>近年の国際的な原材料価格の上昇や、急激な円安による海外からの輸入コストの増加により、電力・ガス・食料品等の物価高騰に歯止めがかからない状況です。</p> <p>このような情勢において、昨年5月にはJR四国が運賃改定を行う中、路線バスにおいても運賃改定を行うことは自然の流れではないかと感じています。</p> <p>高齢ドライバーの交通事故を防止するためには、免許返納が安心して行われる環境が必要です。運賃改定により、ぜひバス路線の維持に努めていただくようお願いいたします。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p>
9	<p>消費税の増税を除き、32年ぶりの運賃改定とは知りませんでした。昨今の燃料価格の高騰をはじめとする物価高騰を考えれば、運賃改定は当然のことで、バス事業者のこれまでの努力に感謝します。</p> <p>大人運賃が40円の引き上げで250円になりますが、地域の足を守るためにも、負担増はやむを得ないと思います。利用者のニーズに合った運行（経路、時間、本数）であれば、値上げしても理解は得られます。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p>
10	<p>現在妊娠中ですが、普段から市バスをよく利用しておりバス運営には非常に助かっています。</p> <p>今回の運賃改定は仕方ないと思いましたが、今後本数を減らしたり廃線にしたりすることがないようにお願いしたいです。</p> <p>また妊娠による休職・退職等で収入が減る状況になるため、回数券などででも妊婦に対する軽減措置を検討いただけると嬉しいです。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいります。</p>

市バスの運賃改定に係るご意見と市の考え方について

No.	意見（原文をそのまま掲載しています。）	市の考え方
11	<p>近年における諸物価の高騰や鉄道、バス事業者の全国的な運賃改定の流れは、徳島も例外ではないです。また、受益者負担という形は、公平性を考える上で選択肢の一つと思われます。</p> <p>これらを総合すると、今回の改定は致し方ないと思われます。</p> <p>ただし、車社会の徳島で公共交通を利用する層は、学生や高齢者など、ある程度限られると想像されます。この層に対しての何らかの負担軽減がなされれば、限られた利用者のつなぎ止めになるのではと思います。</p> <p>一方で、均一区間を含めた路線バスを取り巻く環境はこの間大きく変化したと思われますし、今後も運転手不足や市交通局の廃止に伴う路線再編など、大きな環境の変化が予想されます。改定で得られた収入を原資に、今後必要な投資を行っていただければと思います。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいります。</p>
12	<p>路線バスについては、全国的に運転手不足により運賃値上げや減便が行われている。事業者自体が廃止となるケースもある。このような状況の中で、徳島市においても運賃値上げは仕方のないことだと思う。運賃値上げにより、持続可能な運営ができるようお願いしたい。</p>	<p>路線バス事業者等の関係機関と運行の効率化や路線再編について協議を継続し、持続可能な公共交通のあり方を検討してまいります。</p> <p>引き続き路線バスの維持につながる施策に取り組んでまいります。</p>